

第27回 おきなわマラソン



当日に向け、会場設営に意気込む県基地周辺住宅防音事業協力会のメンバーら113日、沖縄市の県総合運動公園

成功願い会場設営

県基地周辺住宅防音事業協力会

本島中部地域の105社が加盟する県基地周辺住宅防音事業協力会は13、15日、県総合運動公園体育館内や会場周辺の会場設営を担う。ボランティアへの参加は今年で4回目。加盟する事業者が協力して取り組むイベントはあまり多くないという、事業者が交流を深める良い機会にもなっているという。メンバーたちは当日に向け、会場設営に汗を流した。

武山三郎会長(67)は「中部地域が携わる大会が、無事に成功するよう願って、それぞれが会場設営を頑張っている」と話す。ボランティア作業の現場は、和気あいあいとした雰囲気であり声絶えない。

「できるだけ多くの事業者が関われるように尽力している」と語るのは、金城時男副会長(61)だ。各事業者が集まることで「互いを知る良い機会になる」と話す。

協力を代表して出走する上里直司さん(45)は「4時間半切ることを目標に駆け抜ける」と意気込む。ゴールを目前に控える34キロ地点からの激しいアップダウンに「関門だ。目標にはまだ厳しいが、本番に備えたい」と語った。